

能登半島地震は内陸(直下型)地震と呼ばれるものです。南海トラフの巨大地震と違って、内陸地震がどうして起こるのかは、まだよくわかっていません。内陸地震の発生の仕組みに関する有力な仮説について紹介します。



Lecture series

- 研究の最先端 -

no.161

レクチャーシリーズでは、様々な分野で活躍する研究者にご講演いただいています。

2024年度は、3名の先生方に研究の面白さや可能性についてお話を伺います。

一緒に研究の世界へ。中高生も大歓迎です。



アクセス
京阪電車「出町柳駅」より徒歩約15分。
市バス停留所「百万遍」より徒歩約2分。
※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

内陸地震はどのように起こるのか？

2024.04.13 sat.
10:30 ~ 12:00

飯尾 能久

阿武山地震・防災サイエンスミュージアム 理事長

大昔の人々にとって、地震(地面のゆれ)は恐ろしいことだったと思います。生起している現象がどういうものなのかを理解することが、それへの対応の第一歩となります。能登半島地震がどうい地震だったかについても簡単に紹介します。



<会場>

ミュージラボ(総合博物館1階 自然史展示室内)

<申し込み>

不要です。直接博物館へお越しください。

※ 満席の場合はご参加いただけないことがありますのでご了承ください

<参加費>

無料です。(ただし入館の際に博物館の観覧料が必要です。)

<お問い合わせ>

京都大学総合博物館

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

tel 075-753-3272 Fax 075-753-3277

URL <https://www.museum.kyoto-u.ac.jp> E-mail info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp